

北海道新幹線の建設促進について

北海道部会提出
説明担当 石狩市

「新青森－新函館北斗間」の開業から3年半が経過した北海道新幹線については、青函トンネル内の通過速度引き上げ等により、「東京－新函館北斗間」の所要時間が短縮され、利用者数の増加及び道南方面をはじめとした地域経済の発展が期待されている。

北海道新幹線は、首都圏はもとより、東北や北関東圏との文化・経済交流の促進や新産業の創出等の効果をもたらすほか、自然災害にも強い交通手段として、魅力と活力に満ちた北海道を築き上げ、ひいては、我が国全体の発展に欠かすことのできない社会資本である。

すでに全線開業している整備新幹線は、関係する地域の経済発展に大きく貢献していることから、北海道新幹線についても、利用者が全道各地を周遊することで、その開業効果を道内全体に波及させていくことが重要であり、札幌までの全線開業により、その実現が最大限図られるものである。

現在、「新函館北斗－札幌間」の2030年度末の開業に向けて工事が進められているが、北海道新幹線の利用促進に向け、今後、さらに工期を短縮し、開業時期を前倒しすることが待ち望まれている。

については、北海道新幹線の建設促進に向けて、次の事項を強く要望する。

記

- 1 新青森・新函館北斗間の安全運行の確保と札幌までの早期完成を図ること。
- 2 貸付料など幅広い観点からの更なる建設財源の確保や、財源措置の拡充による地方負担の軽減を図ること。
- 3 青函共用走行区間において、さらなる新幹線高速走行の早期実現を図ること。
- 4 新幹線の開業効果を高めるため、新駅周辺地域や広域幹線道路などの整備に対する社会資本整備総合交付金等の重点的な配分を行うこと。